

暖かな春の息吹が感じられる今日 このよき日に、第五一回袋井市立袋井南中学校卒業証書授与式を、挙行するにあたり、袋井市長 大場規之様、PTA 会長 藤田佳三様、教育振興会長 豊田大介様、学校運営協議会委員の皆様のご臨席を賜り、また、保護者・地域の皆様も、多数参列いただき、子供たちの卒業を、お祝いいただきますことに、厚くお礼を申し上げます。

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。

ただ今皆さんに、授与した卒業証書は、単に中学校を卒業したことの証明だけではなく、皆さんが九か年の義務教育の課程を修了したことを示しています。これからは、義務教育を離れ、自分の意思で自分の将来を見据えて学び、行動する期間に入ります。ぜひ、今日という日を 新たな未来に向かう第一歩を 踏み出す日にしてほしいと思います。

さて、皆さんが中心となって活動した「第五一期生徒会スローガン」は、「Let's have fun! 今をみんなで」そこには、「全校の皆が毎日通うのが楽しい学校にしたい。」「何事にもみんなで取り組みたい。」という思いが込められていました。

思い返してみると、皆さんの小学校時代はコロナ禍にあり、多くの制約のある学校生活でした。しかし、そのような状況の中でも、皆さんは、日々の生活の中に楽しいことを見つけていました。まさに皆さんは、「楽しさみつけのプロ」でした。

だからこそ中学校でも、南風祭体育の部、合唱の部はもちろん、毎日の生活の中にも、たくさんの「楽しさ」を見つけることができたのだと思います。皆さん自身も、そして、後輩たちも「学校が楽しい。」「南中は楽しい。」と口々に話しています。皆さんの存在が、この学校の空気を明るくし、創立五一年目を迎えた袋井南中学校に、新しい風を吹き込んでくれました。

また、皆さんは、自分とは違う色の美しさを感じ、そのよさを認めることのできる優しい心をもっています。一人一人に個性があり、さまざまな色があります。

「どの色がきれいか。」と聞かれたら、「どの色もきれいだね。」と答えられる。そんな心の広さ、温かさを皆さんは、もっています。それは学校の中だけではありません。本日お見えの大場市長よりいただいた「袋井市を元気に!」「地域を元気に!」というメッセージを受けて、地域に出て活動している皆さんの姿を見てみると、そこにはいつも以上に楽しそうな「笑顔」がありました。そして、皆さんに関わった地域の方々の表情もまた、とても温かく、幸せそうでした。それは、「してあげる。」という気持ちではなく、「一緒に楽しむ。」という気持ちで人と関わっていたからだと思います。

皆さんは、人のために何かをする喜び、人の役に立つ喜びを知っています。皆さんはまさに、

「喜びを創り出すプロ」

なのです。言うならば、

「ウェルビーイングの申し子たち」

です。だからこそ、卒業後もこの地域の、地域のみならず日本の、世界の喜びを生み出す人になってほしいと願っています。皆さんのこれまでの活躍から、私は、「きっとこの先、すばらしい世の中を創ってくれるのではないか」という期待でいっぱいです。みなさんがどんな未来を創っていくのか、とても楽しみです。

一步、また一步、皆さんの足音を踏みならして行ってください。自分の足で確かに歩みを進めて行ってください。

もちろん、この先のすべてが順調に進むことばかりではありません。すぐに、望んだ結果が出るのが、必ずしもよいとは限りません。だから、疲れたときには立ち止まってもよいと思います。地球が回っているかぎり、前に進んでいます。きっとよい方向へ、皆さんを導いてくれます。なぜなら皆さんは、

「楽しさみつけのプロ」

「喜びを創り出すプロ」

なのですから、どんな場所でも、何が起こっても、きっと前を向いて歩いていくことが、できるはずです。

保護者の皆様、本日はお子様の御卒業、誠におめでとうございます。

お子様が生まれてから今日までの十五年間、喜びの日もあれば、ご心配やご苦勞の多い日もあったことと思います。その一日一日の積み重ねを思い起こされながら、今、立派に成長されたお子様の姿をご覧になり、その感慨もひとしおのことと拝察いたします。

私にとりましては、卒業生と共に過ごした時間は一年間ではありましたが、その日々の中で、何度も「子どもたちの力は、本当にすごい。」と感じさせられました。子どもたちは、自ら考え、仲間と力を合わせ、行動することで、私たちの期待を超える成果を生み出してくれました。時には大人である私たちの想像をも超える姿を見せてくれることもありました。そして日を追うごとに、「この子たちに任せよう。」「この子たちを信じてみよう。」そんな思いが、私の中で、自然と強くなっていきました。

こうした子どもたちの力の源は、ご家族の皆様の温かな愛情にほかなりません。これから子どもたちは、大人である私たちでさえ、正解の分からない未来へと歩み出していきます。迷うことも、立ち止まることもあるかもしれません。しかし、どんなときも自分を信じてくれる家族の存在は、子どもたちにとって何よりの支えとなります。

子どもの輝きの源は、「家族」です。

子どもの心の安定の源もまた、「家族」です。

どうかこれからも、子どもたちを信じ、温かく見守りながら、そして、対話を繰り返しながら、子どもたちの歩みを支えていただきますよう、お願い申し上げます。

卒業生の皆さん、私たち教職員一同は、皆さん一人ひとりの成長と活躍を心から応援しています。皆さんとの出会いに感謝するとともに、

「夢に向かい 自分らしさをいかして ともに輝いていく」

ウェルビーイングの申し子たちの前途に、幸多からんことを心から祈念して、式辞といたします。

令和八年三月十八日 袋井市立袋井南中学校長 中村 佳央